

『まさに「民主党らしさ」そのものだった』訂正・校正

頁	段落	場所	誤	正	備考
23	上2	2行	労働者政党が——社労党など——がしめ出された	労働者政党——社労党など——がしめ出された	
32	上後1	後2行	ブルジョア・民主主義	ブルジョア民主主義	
54	下2	4行	あるでは <u>い</u> なか	あるでは <u>な</u> いか	
54	下後1	2行	自主的に活動に	自主的 <u>な</u> 活動に	
54	下後1	3行	大衆的に基盤を欠く	大衆的 <u>な</u> 基盤を欠く	
59	下後2	3行	人口爆発 <u>を</u> 、それらの国家の人口の急速な増大 <u>を</u> ……賛成するのか	人口爆発 <u>に</u> 、それらの国家の人口の急速な増大 <u>に</u> ……賛成するのか	
95	下2	2行	「お伺い <u>を</u> を立てた」	「お伺いを立てた」	
102	下後3	後2行	党と内閣の支配者して	党と内閣の支配者 <u>と</u> して	
125	上1	1行	誤解を避ける <u>めた</u> に	誤解を避ける <u>ため</u> に	
227	下2	5行	労働者の預かり知らぬからである	労働者の預かり知らぬ <u>こと</u> だからである	
316	上2	5行	統合 <u>一</u> され	統合され	
329	上1	1行	ケインズ主義 <u>を</u> （したがって、民主党や共産党の過少需要という観念 <u>を</u> ）、一つの間違ったドグマであることを暴露している	ケインズ主義 <u>が</u> （したがって、民主党や共産党の過少需要という観念 <u>が</u> ）、一つの間違ったドグマであることを暴露している	
338	下1	4行	一 <u>K</u> W時	一 <u>k</u> W時	kは小文字
339	上後1	1行	一 <u>K</u> W時	一 <u>k</u> W時	kは小文字
352	上4	3行	民主主義はなくなるという <u>だ</u>	民主主義はなくなるという <u>の</u> <u>だ</u>	
355	上2	2行	鳩山首相にも考えほしい	鳩山首相にも考 <u>え</u> てほしい	

なお、各論文末のカッコ内の号数と年月日は、マルクス主義同志会の中央機関紙『海つばめ』の発行号数と発行年月日です。つまり、すべての原稿が（少数の例外を除いて）09年夏の総選挙頃から鳩山政権が崩壊に瀕した10年5月末までの、その時々にかかれたものです。